

傾聴ボランティア

「あいりす」通信

第 25 号



〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

電話番号 0858-24-5378

携帯電話 090-2804-8014 (竹森)

E-mail:ailis@heart-ailis.com

http://www.heart-ailis.com

平成 27 年度 6 月定例研修会のご案内

日時： 6 月 12 日 (金) 13:30~15:00

場所： 倉吉福祉センター 中会議室

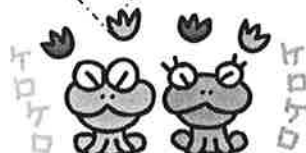
倉吉市福吉 1400 Tel.22-5248

会員のみなさん集合！傾聴ボランティア活動をワイワイ話しましょう。

内容： ①ミニ講演 前田恵子さん (みのりかじかケアマネジャー)

②皆で話そう、傾聴ボランティア活動の疑問・醍醐味等各訪問先の報告等

③ロールプレイ



傾聴の大切さは日頃から痛感し研修を重ねても、現実はなかなかうまくいかないもの。

自分の悩みや、疑問を話しあいスキルアップをしましょう。

傾聴する力を高めると、人間関係力も高まり得られる喜びも大きくなっていくでしょう。

聴くことは！！

「人間にとって一番ひどい病気は誰からも必要とされていないと、自分で思い込んでしまうことです。 マザー・テレサ」

人間は誰でも認められたい願望を持っています。誰かに自分の存在を認めて欲しいと

思う事は水、空気、食べ物と同じように生きて行くうえでとても大切なことです。

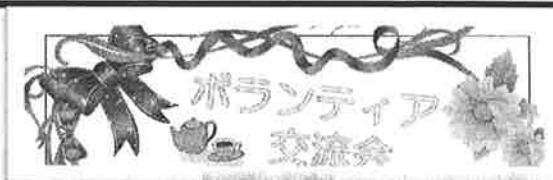
傾聴されることは「自分を分かってもらえた」「自分を大切に扱ってもらえた」という実感を生み、自己肯定感に繋がり生きる元気がわき出てきます。

人の話を聞かせてもらう側にも自分自身を成長させるというメリットがあります。人の話を聴くことで自分が知らなかったこと、自分と違う考えを学ぶことで心の幅や許容範囲が広がります。「鈴木絹英」

4月15日サンテリオンで活動されているボランティアさんに、感謝の気持ちを込めて、ボランティア交流会を行いました。

15名の方に参加していただき皆様の活動についてご紹介をさせていただきました。

参加者の春風みゆき様に腹話術も披露していただき、大変楽しい交流会となりました。



訪問先の交流会に参加してきました。施設名「ル・サンテリオン」は、フランス語で「健(すこ)やかな場所」という意味、地域交流に力を入れたいと矢間やすみ施設長のご挨拶の後、六つのボランティア団体の紹介があり、私たち(音田・大月)も傾聴ボランティア「あいりす」の紹介いたしました。 介護老人保健施設 ル・サンテリオン発行「こもれび」5月号より抜粋



あのね・(会員のつぶやき)

バス通りを曲がると参道である。2～300mは あるのか松並木が続く。

総門をくぐると別世界に足を踏み入れたようである。

荘厳たる山門に目を引かれ、吸い込まれるように石橋を渡り山門をくぐる。

杉(?)林を横切る修行僧であろうか作務衣姿の異国の方々と出くわす。

庭園の池に映るしだれ桜はみごとであったが、本堂の横のもみじの花に心を奪われた。とてもかれんで、いとおしく離れがたかった。

孫は、もみじの葉先の水滴を写真に撮りたいと言い出した。

数日後、我が家の「のむら」というもみじに花が咲いているのを孫が気づいてくれた。

ニシキギにも5ミリに満たない新芽と見間違いそうな花が咲き始めた。黄楊の木にもかわいい花が咲いていると孫が見つけてくれた。

日頃見落としそうな小さな事柄に気づけるように、今一度自身をゆっくりと見つめようと思った。今は、コバノズナの花が咲き始めた、いずれも秋の紅葉が楽しみです。

(笠田淑子)

青葉の美しさと、そっと触れるそよ風の優しさに自然に抱かれた心地よさを味わっています。

5月16日、谷川俊太郎さんと阿川佐和子さんの対談「声のスキンシップ」を聞いてきました。

ことばにこだわることで世界が広がり深まっていくのを感じ、谷川さんの最後のことばから宇宙の中のいのちを考えさせられました。

会員の「つぶやき」イニシャルから実名にしました。

※平成27年度会費がまだの方宜しくお願いします。(I)